



# A R T

All Rikkyo Tennis

## 立教大学体育会庭球部部報

発行所  
立教大学体育会庭球部  
〒171 豊島区西池袋3丁目  
電話 (985) 2680  
発行人 阿部 弘行

# 立教庭球部部報復刊

### 一部復帰めざして 総力を結集しよう!!



立大正門

#### 部報発刊の辞

庭球部長 伊藤謙哉

今回、庭球部OBの方々の協力によって部報ARTを皆様のお手許にお届けすることができ、まことに欣快にたえません。私が伝統ある立教大学の庭球部長をお引き受けしてから早くも十年の歳月が経過しました。ここ数年、戦績の方はもうひとつというところでOBの方々のご期待に沿うことができず、心苦しく思っております。また、かつて発行されていた機関誌を再発行することは、部長就任以来の私の念願であり、懸案事項の一つでありましたが、ここにささやかなものですが再刊第一号を出すことができました。としております。

#### 発刊を祝って

庭球部OB会長 田中能徳

このたび立教庭球部の部報が新たに発刊されましたことは大変喜ばしいことと思っております。昭和四十三年頃立教テニスという部誌が発刊されましたが、もなく廃刊となり、現在部活動のまとまった資料が皆無の状態です。この部報を毎年継続することにより、例えば大学庭球部の創部何十周年記念誌等を発行する際の貴重な資料ともなり、又現役とOBとのコミュニケーションにも大いに役立つものと思っております。

#### 発刊によせて

庭球部監督 小西一三

庭球部の部報ART第一号の発刊、まことに喜ばしいことと存じます。この部報が定期的に刊行され、OBと現役をむすぶつよいきずなになることが大いに期待されます。戦績に関しては、ここ数年期待を裏切っており、とくに一昨年、昨年は一部昇格の実力を十分備えておりながらと一歩及ばず、監督として非常に責任を感じております。技術的な面以外の「なにか」が欠けていることをいつも試合を見て痛感しており、今後はさらに一層コーチとの連絡を密にして、試合に負けない力強い選手にきびしく鍛えあげていくつもりであります。大学の庭球部強化へつながる試みの一つとして私も同行練習会(別記)があります。この練習会は立教におけるテニ

#### 部報の発刊を祝う

体育会会長 伊藤健三

立教大学体育会男子硬式庭球部報の発刊おめでとうございませう。何ごにせよ、機関誌の編集には非常な時間と労力を要するのですが、おそらく今回の部報発刊においてもいろいろとご苦労があったことと思っております。関係者のみなさまのご尽力に深く敬意を表するとともに、厚くお礼申し上げます。

### 8年ぶりの栄光!!

#### 同立定期戦

久々の美酒に酔う

同立定期戦は九月二十六・七日の両日、立教コートに於いて行われた。ダブルス三対〇のあとシングルスは二対四となり、計五対四で辛くも逃げ切った。なお、同志社戦勝利は八年ぶりのことである。昭和五十七年度同志社大学対立教大学定期戦は九月二十六日・二十七日の二日間に渡って、立教大学富士見町グラウンドで行われた。

フ明けより、体力トレーニングを強化していたが、試合前の台風によって、コートが水没、合宿所が使用禁止、故障者が続出するなど、思わぬアクシデントが起った。メンバー決定は、前日までもめにもめた。戦力的にも、完全に同志社優位のように思われた。

初日、ダブルスは、前日の降雨のため、試合開始が三時間遅れ、十二時からとなった。本学は、藤井・藤原組、川本・笠原組で、ポイントを取り、二対一にすればなんとかなるという計算で、阿部・高橋組を捨てナンパ二とした。ところが、対抗戦初出場のこのペア、この機会を逃がしてはと、ガンバリ、だれもが予想しなかったフルセットまで闘い、奇跡の逆転勝ちをした。この思わぬ勝利によって、本学は三対〇となり、かなり優位にたつた。

二日目も、これまた、対抗戦初出場のナンパ一六、一年の山田が、足をすりながらも、ガンバリ、逃げ切って、四対〇と勝利に玉手をかけた。ところが、浮かれていた本学の油断をついて、同志社も名門の油断を見せ、あれよあれよという間に、続く四ポイントを取って、なんとスコア一四対四となり、勝利は、ナンパ一一の藤井・長谷川戦にともつれ込んだ。しかし、ファーストセットこそ調子が今ひとつ出ず接戦したが、続く第二第三セットを、持ち前の華麗なテニスを発揮して長谷川を寄せ付けず、貫録勝ちした。

これによって計五対四と辛くも逃げ切り、対同志社八年ぶりの栄光を勝ち得た。しかし、ダブルス三対〇となったところで、本学に油断があり、このようなスコアになったことは非常に不甲斐なく、反省すべき点であり、リーグ戦を前にして、たいへんいい経験だったと思う。また、対抗戦初出場の者が、ガンバリを見せ、勝利に貢献したことで、他の部員にも「やればできる」といういい刺激をしたことで、反省すべき点、喜ぶべき点、ともに多い価値ある同立定期戦だった。



立大5 (D310) 4同大 (S214)	△ダブルス▽ No.1 藤井 6-1 4 長谷川 藤原 6-1 4 岩本 (関東 学生) 6-1 7 (関西 学生)	No.2 阿部 3-1 6 仁科 高橋 2-1 6 島田 (関西 学生) 7-1 5	No.3 笠原 7-1 5 敷田 川本 3-1 6 角田 △シングルス▽ No.1 藤井 7-1 5 長谷川 (イン カレ) 6-1 1 (イン カレ)	No.2 笠原 3-1 6 島田 (関東 学生) 3-1 6 (関西 学生)	No.3 藤原 4-1 6 仁科 (関西 学生) 4-1 6	No.4 渡井 2-1 6 岩本 4-1 6 (関西 学生)	No.5 春日 4-1 6 沢田 1-1 6 4-1 6	No.6 山田 6-1 4 平尾 7-1 6 6-1 6
-----------------------	---	--	--	---	-----------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------



\*\*\*\*\*

### OB紹介

\*\*\*\*\*

自分のテニスに徹する

三町正治 先輩  
(昭和30年卒)

去年のリーグ戦は、一昨年のメンバーが半分残っていたし、外人の助っ人も加わり、戦力的にも一部復帰の絶好のチャンスだと思っただけ。今回の好機を逸すと自分一部復帰は、望めないと思えた。しかし、蓋を開けると青学戦で思わぬ敗退、二部第三位という誠に残念な結果に終わった。

私が学生だった頃は、理学部の校舎の裏にテニスコートがあり、そこで練習していた。練習は、朝八時から夜八時ごろまでやった。しかし、コートが構内にあつたので、今の学生に比べるともともと自由で、ガツガツ練習しなかつた。しかし決してだらだらした練習ではなかつた。授業は、代返してもらったことが多かつたが、とにかく大学内にコートがあつたので、いつでも練習できたし、けっこう自由がきき、のびのびとしていた。私の時代は民主的なクラブがモットーで、今のようには、封建的なクラブにすると、すぐ一年生が騒動を起こした。だから、クラブの運営上の決議事は、すべて全員で決めた。今のようには、上級生と下級生の集合時間が違うのは、不公平だということ、上級生でさえコート整備のときからコートに集合していた。今考えれば少々変な気がする。

\*\*\*\*\*

### OB紹介

\*\*\*\*\*

自分のテニスに徹する

三町正治 先輩  
(昭和30年卒)

最後に、現役学生に。今は練習場が志木にあるので、昔のようにならなくても練習できないのは、かわいそうなことである。しかし、短かい時間に計画的に科学的な練習をすることが、練習場が遠いことを克服してはほしい。またボールを打つことだけが練習ではない。今の外国選手の足の速さは、驚くべきもので、是非見習ってほしい。それから、技術的なプレーに走りすぎている。基本がしっかりしていないのに、小手先ばかりのプレーをしてミスをする。自分のものになっていないことは絶対やらず、自分のテニスに徹してほしい。とにかく、基本に忠実に、そして自分のテニスに確信を持てるようになってほしい。

大学の授業のほうも、以前と違ってだいぶ厳しくなってきた。入学試験も体育会の推薦制度がなく、いい選手を取れなくなってきた。いろいろ悪い条件が重なってきているが、それらを克服してがんばってもらいたい。そして大学生活をテニスに打ち込み、青春を謳歌してもらいたい。

\*\*\*\*\*

### OB紹介

\*\*\*\*\*

自分のテニスに徹する

三町正治 先輩  
(昭和30年卒)

後輩からプロの誕生を  
倉光 哲 先輩  
(昭和42年卒)

昨年、37歳というプロの中で、最年長的存在ながら、大活躍をなさった倉光さんにインタビューをしてみました。まず昨年の成績をご紹介します。  
関西オープン 単優勝  
八ヶ岳カップ 単準優勝  
全日本ローン 複優勝  
82年JOPランキング 第六位  
82年プロランキング 第五位  
以上が主な戦績ですが、昨年好調だった理由をお聞きしました。  
(倉光先輩) 昨年は、いまま

\*\*\*\*\*

### OB紹介

\*\*\*\*\*

自分のテニスに徹する

三町正治 先輩  
(昭和30年卒)

トレーニングを行います。相手は、だいたいダブルスのパートナーのベイリー選手や、平井選手です。練習の内容は、四十分ぐらい基本練習を行います。それから、三セットマッチをやります。試合後、調子の悪かったところや、弱点強化のため、部分的なドリル練習を三十分ぐらいやります。またその時、振り回しのようなものもいれます。そのあと、トレーニングとして膝の強化、ダッシュなどをくり返します。

次に我々学生に一言言っていました。ただいまです。  
(倉光先輩) 立教の学生のテニスを見ると全体的に単調で、正直すぎると思います。みんな同

\*\*\*\*\*

### OB紹介

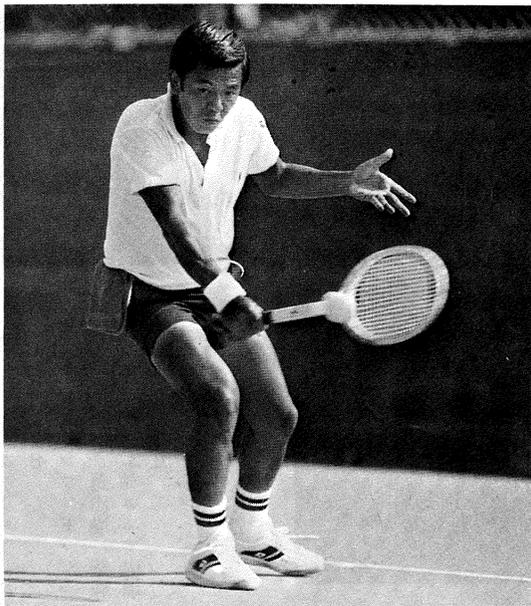
\*\*\*\*\*

自分のテニスに徹する

三町正治 先輩  
(昭和30年卒)

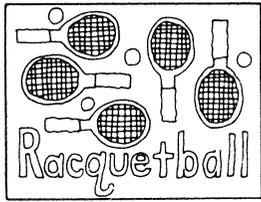
といえ、一年のこの苦しかった思い出ですね。一年のころは、五セットフルのマッチ練習のあと、ダッシュの連続のボールボーイ、そして練習後のランニング、私の頃は、上板橋のグラウンドで練習していたのですが、そのグラウンドを五周、これが非常に非常に苦しく、それでも必死になってついていきました。それから、この習慣は今でもそうですが、多少の故障は、がまんして練習し、決して過保護にしませんでした。少々のカゼとか、筋肉痛は、練習をして、練習のうちに直してしまおうようにしていました。やはり一年の時の苦しさ、思い出として残っています。

どうもありがとうございます。昨年からセミラジラケットにして、目下絶好調の倉光さん。今年は、昨年以上のご活躍なさいますようお祈りいたします。  
ヨーロッパで奮闘  
驚田典之 先輩  
(昭和53年卒)



トーナメント・プロとして大活躍の倉光先輩

が外国へ行けるようになれば理想的ですね。それも一ヶ月とかではなくて三、四ヶ月は最低でもまわったほうがいいと思います。短いと慣れるだけで精一杯です。テニスのレベルはアメリカのほうが上がったように感じました。コートがアンツーカーであることもあって日本人がまわるならアメリカよりヨーロッパをまわったほうがATPポイントをとるチャンスは多いと思います。  
—むこうはどういうタイプの選手が多かったですか。  
(驚田先輩) フランスとスウェーデンの選手はトップスピンドバックは両手打ちの選手が多く、ガンガン打ってきます。チェコの選手はレンドルのまねをして、いる人が多かったです。  
—むこうでの日常生活はどうでしたか。  
(驚田先輩) 言葉のコミュニケーションで一番気をつかいました。英語は少し話せるのですが、ヨーロッパではフランス語やドイツ語もかたこといいから話せたらよかったです。また物価が高いのは驚きました。ビール一杯がホルウエーでは日本円にすると千円もしました。こちらもそんなに余裕があるわけではないので、比較的安いチャイニーズレストランでよく食事をしました。ホテルもリストが渡されて自分のふところにあった所を選ぶようになっていきます。  
—テニス以外のことも教えてください。  
(驚田先輩) そうですね。まずあらゆるショットが打てなくてはいけません。そして、その中で自分にもっともあつたショットを見つけてそれを磨き上げることですね。それに外人とやる時はパワーでは勝てないので、コートを広く使うことが必要だと思いました。  
—どうも有難うございました。今年もより一層のご活躍をお祈りしております。



特許小宮山式  
**スプリンクラー装置**

特許小宮山式：ドレンチャージャー装置  
特許CEC式：室内自動消火栓  
〃：屋外自動不凍消火栓  
〃：CO2ハロン消火装置  
〃：泡消火装置

防火設備・設計・製作・施工  
**建設工業社**  
東京・渋谷区渋谷3丁目27番13号 電話(409)9511(代)

フォークリフト  
(ガソリン、ディーゼル、  
バッテリー)



ショベルローダー  
トローイングトラクター

**東京トヨタフォークリフト株式会社**

本社 東京都品川区東品川3丁目7番6号  
電話 03(472)5211(代表)

### 体育会を励す会賞受賞

我がテニス部は、一月十二日、体育会総会において、体育会を励す会賞を受賞した。この受賞にこたえるべく、なお一層の努力するものである。

我が部の受賞理由は、同志社大学との定期戦において、本学は四十九部中わずかに二部しか勝利を得られず、その一つが我がテニス部で、しかも八年ぶりに勝ったからである。我々は、この受賞を励みにして、これからも努力するつもりである。

体育会を励す会賞カップ



### 立教小・中・高・大 合同練習会

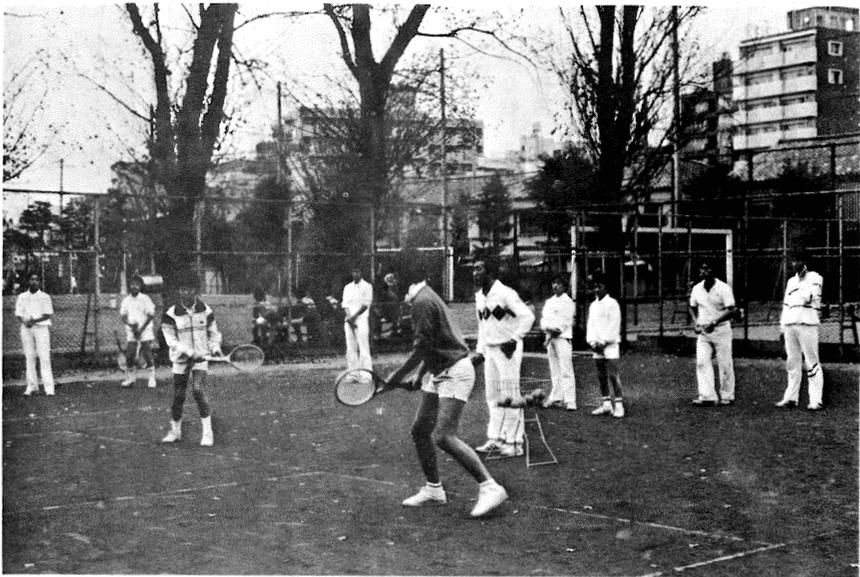
秋晴れの昭和57年11月23日、恒例の標記練習会が新学院のコートなど八面を使用して行われました。各学校庭球部間の親睦を深めるとともに、立教全体のテニスのレベルアップを目的として開かれているこの練習会も六回目を迎えました。今年も各学校から合計一四〇名にもおよぶ庭球部員と各学校庭球部長のほか、大学の小西監督、広瀬(省)、上野、鈴木(明)、中島、鷺田らのコーチが参加し、有意義な練習を行うことができました。

この練習会によって個々の技術的な面の向上をはかることはいうまでもありませんが、学生OBコーチとのふれ合いをとおして人間形成の貴重な場としての役割をこの会が果たすことがま期待されています。現在この練習会は年一回の開催にすぎませんが、大学OBやコーチの指導をうけることを小中高の部員たちは非常に楽しみにしており、また大学庭球部の強化にもつながるものなので、今後開催の回数もふやすことも考えられています。

練習会が終わってみんなの声は「この会をさらに充実、発展させ、いつの日か小中高大の全立教が同時日本一という快挙を



小西監督



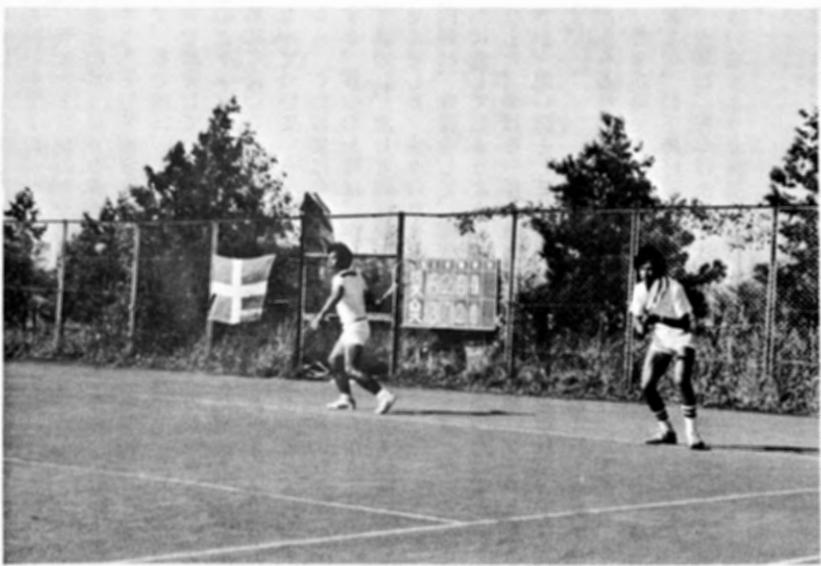
中島・鷺田先輩

成しとげることを大目標に「がんばろう」というものでした。付記  
参考のために57年度の立教中、立教高テニス部のおもな戦績を次に記します。

- 立教中
  - 団体戦 東京都選手権 優勝
  - 関東選手権、全国選手権 準優勝(優勝はいずれも慶応)
  - 個人戦 東京都大会 優勝
  - 単ベスト4 多田
  - 複優勝 多田・山田組
  - 関東ジュニア14才以下 単ベスト4 多田
  - 複優勝 多田・山田組
- 立教高
  - 団体戦 埼玉県大会 優勝
  - 関東大会 ベスト4、インターハイ ベスト8
  - 個人戦 ウィンブルドンジュニア予選出場 柴原
  - 全日本ジュニア出場 折田

### 同立定期戦スナップ

(記事は1面に)



フルセットの末、逆転勝ちした阿部・高橋



1年生ながらシングルスで1勝をあげた山田

オリジナルなテニスとスキーの店

スポーツサロン

# かとう

東京都豊島区西池袋5-16-2

電話 03-986-3734・3735

AM10<sup>0</sup>~PM8<sup>0</sup> 日曜・祭日も営業

オリジナルなテニスとスキーの店

スポーツサロン

# かとう

東京都豊島区西池袋5-16-2

電話 03-986-3734・3735

AM10<sup>0</sup>~PM8<sup>0</sup> 日曜・祭日も営業

## 株式会社 日東コンクリート工業所

代表取締役社長 三町 正治 (昭和30年卒)

東京営業所 東京都豊島区西池袋3-30-6 磯野ビル

電話 03(971)1161(代表)

# 不本意

## リーグ戦 二部第三位

致命傷 青学に敗退

昭和五十七年度関東大学テニスリーグ男子二部において本学は第三位とまことに不本意な成績に終わった。「今年こそは……」というOB諸兄の絶大な期待に応えられず後悔の念に絶えない。

男子二部は三月二十二日より開始され、四月三日まで、中三日おきに二週間にわたって行われた。本学は、昨年のリーグ戦メンバーが庄野、大井、藤井を軸にほとんど残っていた。また、青い目の助っ人、アメリカからの留学生ステファン・デニという強力な仲間を得、昨年にも増して戦力アップしたチーム作りが計れたかに思えた。「今年こそは二部優勝、一部復帰を」というOB諸兄の熱い声援に応えるべく、部員一同、八泊九日の銚子合宿を乗り越え、万全を期してリーグ戦に臨んだ。

### 第一戦

三月二十二日

於 立大コート

立大七 (D二一) 二順天大 (S五一一)

昨年は専修戦で初戦から第一の山だったが、今年も、順天堂戦だったので、メンバーはのびのびと自分のプレーをすることができた。シングルスでは庄野、藤井、大井、ダブルスでは庄野、大井組が安定した強さを発揮、また藤井デニ組も六〇〇、六一三と相手を寄せつけなかった。デニは、初戦ということもあって、リーグ戦の雰囲気を知ってもらおうためにシングルスではメンバーから外してあった。

### 第二戦

三月二十五日

於 立大コート

立大六 (D二一) 三専修大 (S四一二)

第一の山と思われる専修戦だった。昨年暮れの対抗戦において、三六で敗れているだけに、苦手意識と緊張した空気が流れていた。しかし、意外や六一三と対抗戦とはまったく逆のスコアで勝利を収めることができた。シングルス初登場のデニが、はやくもリーグ戦の雰囲気を感じてくれて、関東学生の鈴木を相手にファーストセットはダウンしたものの、すぐ気を取り直して続く二セット連取、逆転勝ちした。しかし、専修戦での勝利は部員に自信というよりも驕りとなって、次の青学戦につながっていった。

### 第三戦

三月二十八日

於 青学大コート

立大三 (D二一) 六青学大 (S二一四)

本年度のリーグ戦の結果をすべて言い尽くしたような絶望的一敗だった。藤井デニ組がマッチポイント握りながら逆転負け。ダブルス一、二、この時点で勝利は決まっていた。精神的にもろい本学は、メンバーはもちろん、情けないことに応援する部員たちまで意気消沈してしまっただけだった。

### 第四戦

四月一日

於 立大コート

立大八 (D三〇〇) 一東京農大 (S五一一)

二部優勝は、青学戦での敗退

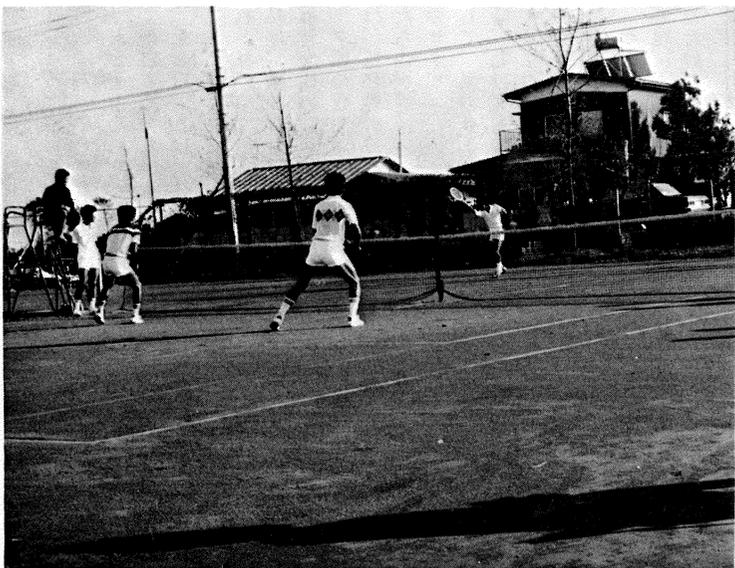
### 第五戦

四月三日

於 筑波大コート

立大六 (D二一) 五筑波大 (S三三三)

メンバー全員資格者で揃えた筑波に対して本学の劣勢は目に見えていた。しかしどうしても勝たねばならない本学は、部員一丸となって、プレー、応援した。その結果、シングルスで庄野、藤井、デニがガンバリ三三としたが、あと一ポイント足らず、四一五で惜敗した。これによって、本年度のリーグ戦はすべて終了。入れ替え戦にかかるともできなかった。本年度のリーグ戦を振り返ってみると、戦力的に一部復帰の久々のチャンスに思われた。一、二戦の勝利によってメンバーに油断があったように思われる。また、庄野、藤井におんぶしているところがあり、その柱がぐずれたとき、他のメンバー



対専修大戦



### リーグ戦を終えて

庄野 俊夫

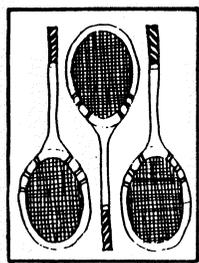
インカレ三人を抱いた前年のリーグ戦は、一部入れ替え戦で四対五と惜しくも早稲田に敗れました。以来一年間、OBの方々の御支援と共に、一部復帰を目標に練習に励んで来ました。早大からはジャパン選手が二人抜けるなど今年にはチャンスであったのですが、二部校にも、全資格者の筑波、秋の対抗戦で惨敗した専修、資格者四人をはじめ、粒のそろった青学と強敵

の動揺は大きく、精神的にもろかったように思われる。リーグ戦は技術はもちろん、チーム全体の勝利へのあくなき精神力が必要だと思った。来年度の戦力ダウンは明らかだが、本年度の無念を晴らすべく、部員一同ベストを尽くそうと思う。

### 個人成績

◇春季関東学生 テニストーナメント◇	※予選決勝※
春日 (6-13) 高橋 関東学生 (1年)	(6-13) (明治) 資格獲得
笠原 (6-13) 山崎 関東学生 (2年)	(6-13) (日大) 資格獲得
大井 (6-14) 大橋 関東学生 (4年)	(6-14) (法政) 資格獲得
染谷 (6-14) 笠山 関東学生 (4年)	(6-14) (法政) 資格獲得
藤井 (6-14) 川島 関東学生 (3年)	(6-14) 川島 関東学生
藤原 (6-12) 岩崎 資格獲得 (2年)	(6-12) (学芸大)
◇夏季関東学生 テニストーナメント◇	※予選決勝※
沢井 (6-11) 浅沼 (3年)	(6-11) (筑波)
藤井 (6-14) 浅沼 (3年)	(6-14) (筑波)
庄野 (4-6) 村田 (4年)	(4-6) (法政)
藤原 (6-13) ベスト4進出 (4年)	(6-13) (法政)

◇新進テニストーナメント◇	※本選※
一回戦	一回戦
藤井 (6-11) 堀 インカレ	(6-11) 堀 インカレ
藤原 (6-13) 沼野 資格獲得	(6-13) 沼野 資格獲得
(筑波)	(筑波)



が揃い、楽観できない状態でした。また、立教は、メンバー三人が抜け、計算できるのは、単複のインカレの三ポイントだけで、前年のポイントゲッター大井を含め、残り全く計算できず、不安な気持ちでした。そんな時、一月から全米高校十位と言ふステイブが加入し、大きな期待がかけられました。しかし、彼には二年間のブランクがあり、フットワークと外人特有のあきらめの早さという課題があり、若干の不安が残りました。ともあれ、インカレ二人、関東学生一人とステイブの戦力でリーグ戦に臨むことになったのです。期末テストも終わり、リーグ戦に近づくにつれ、全員の緊張感も高まって来ました。三月に入り、九日間のリーグ戦合宿が始まりました。これが終ると試合は目の前です。毎日のようにコートの方がいらっしやうてくださったのですが、広瀬さんがアキレス腱を切ったのを皮切りに、上杉が捻挫、藤井がひざを故障、沢井がリンパ腺をはらし、染谷が風邪などメンバー候補が倒れ、満足な練習が出来ずに終わってしまいました。また、メンバー候補で抜き出た者もなく、オーダーも調子の良さそうな者を出さずという事になったのです。試合も目前で、ここまで来たら持っている力を全て出すだけという気持ちです。

そしてリーグ戦が始まり、初戦、順天堂に七対二で勝ち、苦戦が予想された専修にステイブ、大井が活躍し、六対三で勝ち希望がふくらみました。波に乗って青学と対戦したのですが、接戦で三ポイント落とし、三対六と予想外の差で敗戦を喫してしまいました。続く東農には八対二で勝ったものの、最後の望みの筑波に四対五と勝負弱く結局OBの方々の期待に応えられず、二部の三位に甘んじてしまいました。自分としては精一杯頑張ったつもりですが、まだまだ努力不足だったのでと後悔しています。今年度は三位という不本意な成績でしたが、この様な悔いの残らない様、来年度こそがんばって欲しいと思います。

高級カラー・オフセット印刷をはじめ印刷のことなら何でも

## 和宏印刷株式会社

〒115 東京都北区浮間5丁目17番20号  
TEL 03 (969) 9 4 8 1 (代表)

浅見 豊 (昭49年卒)

昭和48年卒主務 内原 康雄  
自宅 TEL (03) 914-9143

# 王子メカネ

メガネ・コンタクト・カメラ

本店 国電王子駅正面  
北区王子1-9-1 TEL (03) 913-1549  
支店 秋葉原デパート3Fメカネ売場  
千代田区外神田1-17-15 TEL (03) 253-6276

現役紹介

リーグ戦に向けて

主将 藤井孝信

何が何でもリーグ戦一部昇格が目標ではあります...

初の外人助っ人!

私が立教大学庭球部と出会い、練習に志木のコートへはじめて行った日...

か言う下級生は大きな声で返事をしました。私は一番前列に並ぶように言われ...

三月の合宿の途中から参加以来、今振り返ってみると、右も左もわからなかった自分も...

テニスとは私にとって何であろうか。それは、自分自身を成長させる一つの肥である...

私が立教大学硬式庭球部に入部しようと決めたのは、高校時代に存分に練習が出来ず...

この新聞によって現役とOBの方々のつながりは固く深くなり、立教テニス部の伝統は確実に...

ガッツあふれるプレーで一年生ながらレギュラーだった春日政彦君が本年一月二日午後十一時三〇分...

西川幡之助 大正十年卒 六月十日死去 野口和英 昭和三十一年卒 十月七日死去

Table with columns: 学年, 学部, 学科, 役職, 氏名, 住所, 電話. Lists current staff members.

一九八二年 九月

女子硬式庭球部 主将 横尾典子

- 卒業生就職先: 庄野 俊夫 経済, 東邦生命 経済, 大井 洋隆 法, 大丸百貨店 社会, 井上 勇人 社会, フミヤ, 上杉 信久 経済, 三井生命 経済, 染谷 孝幸 経済, 日本情報センター, 旗 栄一郎 経済, 東宝

急逝!! 春日政彦君

ART発刊が、当初計画より大変遅れまして申し訳ありません。なにぶんにも、全くの素人なものですから、伊藤先生、OBの方の絶大なるご協力のおかげで発刊にこぎつけました。

今春、庭球部を旅立つ4年生

